

GIGA スクール構想について

1 進捗状況

(1) ハードウェア等

○令和2年度の整備実施内容(予定含む)

	国の指標	整備後
学習者用コンピュータ (タブレット端末)	児童生徒1人1台	児童生徒1人1台 (令和3年度児童生徒数)
指導者用コンピュータ (タブレット端末)	授業を担当する教員1人1台	授業を担当する教員1人1台
大型提示装置	普通教室1台	2月までに普通教室1台
学校通信ネットワーク	高速大容量の通信ネットワーク100%	2月までに全校工事完了予定
WEBカメラ	—	全校6台導入済 (国補助金活用)
Wi-Fiルーター	—	Wi-Fi環境のない世帯の児童生徒へ貸与 (機器は国補助金活用、通信費は保護者負担)

※12月8日にリース業者が決定し、補助金交付申請中

※令和3年2月末までに各校タブレット端末整備完了予定

※タブレット端末にはイン・アウトカメラ、着脱式キーボード搭載

(2) ソフトウェア等

OS : Windows 10

学習用ツール : Microsoft GIGA Promo (Microsoftによる教育プラットフォーム)

Microsoft365 (Word, Excel, PowerPoint等)

Teams (協働学習、遠隔・オンライン授業等)

OneNote (協働学習)

カメラ (写真, 動画撮影, QRコード読み取り機能)

ラインズによるAIを活用したオンラインドリル 等

※G Suite for Education (Google) の活用も可能な設定

2 研修について

(1) 導入前

①各校へ Microsoft 365 Education の仮アカウントを発行し活用

【実践】

- ・ 研究発表会の授業動画の配信、共有（Stream を活用）
- ・ オンラインによる師範授業配信（Teams を活用）
- ・ 研究協議会へのオンラインによる参加（Teams を活用）
- ・ 研修資料や Teams マニュアルの共有（OneDrive の活用）

②県立総合教育センターによる研修（授業での活用）

- ・ 各校情報主任を対象に県立総合教育センターを利用し研修（2月実施）
- ・ まなプロ（県立総合教育センター事業）を活用した小・中学校への ICT を活用した授業提案（研修会后、対象校を決め実施）

(2) 導入後

①端末導入業者による各校への操作研修（導入時及び適宜）

- ・ 教職員全員を対象とした操作研修
- ・ 情報主任等を対象とした端末管理研修

②動画による研修

- ・ Microsoft 社の研修用動画視聴による校内研修

3 活用場面について

(1) 学校内における活用

①一斉学習：教員による教材や課題の提示

（Teams, OneDrive, PowerPoint, 大型提示装置）
課題の配布、回収等

（Teams, OneDrive, OneNote）

②個別学習：AI を活用したオンラインドリルの活用、調査活動等

（ライonz e-ライブラリー, インターネット検索等）

③協働学習：発表や話し合い

（Teams, OneDrive, OneNote, 大型提示装置）
協働編集による課題解決等

（Teams, OneDrive, OneNote）

④遠隔授業：学校間をつないだオンライン授業や意見交換等

（Teams, OneNote）

(2) 臨時休業等家庭での活用

①Teams を活用した毎日の健康観察（オンライン朝の会）

②Teams, OneDrive を活用した課題の配布・回収

③Stream を活用した動画コンテンツの視聴

④ライonz e-ライブラリーを活用したドリル学習